

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	60歳以上ソフトボール大会	会計	一般会計	事業No.	727	施策順No.	26-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	10-6-1-11-4		
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり	課等名			生涯学習・スポーツ課		
施策	26 スポーツの振興	事業期間	開始	S58	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	60歳以上の飯田市民						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		60歳以上の飯田市民:人	35376	36124	36884	37531	38199	
	意図	ソフトボール大会を開催することにより、ソフトボール愛好者を増やし、高齢者の健康増進を図る。						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	飯田市の60歳以上ソフトボール大会参加者数:人	337	342	282	330	309	340	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	チームの高齢化により、チーム数や参加者の増加は難しい状況にある。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり生き甲斐づくりを始とした高齢者スポーツの重要性が認識されるなかで、愛好者の全国大会実施気運の高まりにより、昭和58年に全国規模の60歳以上ソフトボール大会として開催した。 市内の60歳以上ソフトボール愛好者で組織する「飯田市60歳以上ソフトボール連盟」と飯田市教育委員会が協働して大会を企画運営している。 全国から参加チームを募集し、市内グラウンド8会場18コートで10月上旬2日間にわたり大会を開催。実行委員会を組織し、市内チームが各グラウンドを受持ち、(財)飯田市体育協会ソフトボール部に主審を依頼し試合を行なう。 平成17年度に中央道沿線60歳以上ソフトボール大会を統合したため、市内で60歳以上が関わる唯一の全国規模大会となった。 高齢者の健康維持、体力向上を図り、生き甲斐づくりとして寄与している。 県外チームの参加希望も多く、大会名は全国に知られている。 第27回大会からは、地元企業の協力を得て、特産品のPRも実施。 		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 27回大会として実行委員会方式で10月2日(土)・3日(日)に大会を実施。(85チーム1,776人参加)	1 参加チーム数	1 85チーム
23年度実施計画	1 28回大会として実行委員会方式で9月下旬に大会を開催(大会の企画運営)。	1 参加チーム数	1 90チーム

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金				
		起債				
		その他				
		一般財源	214	214	214	
		計(A)	214	214	214	
		正規職員所要時間		290		
		臨時職員等所要時間		50		
		人件費計(B)		1,091		
		トータルコスト A+B		1,305		

4 事業に対する市民や議会の意見

--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①いつでも誰でもどこでも気軽にスポーツに親しむ。 ②競技力が向上する。	施策の成果指標又はムツ指標	ウォーキングやスポーツを行っている市民(成人)の割合:%
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	本事業は、60歳以上のソフトボール愛好者にとって励みとなっている大会であり、日常的にスポーツに親しむ高齢者層の維持に貢献している。		
	後期に向けた課題	チーム加盟者の減少により大会に出場できないチームが発生しつつある。一時よりソフトボールの競技人口が減少してきているなか、市内チームの育成が課題となってくる。 実行委員会組織は、飯田市60歳以上ソフトボール連盟と同一であり、各試合会場の準備運営も担っているため、市内参加チームの確保が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	飯田市60歳以上ソフトボール連盟と大会運営について協議を行い、地域行事と重ならないよう日程調整をし大会を開催してきた。また飯田市60歳以上ソフトボール連盟が開催する市内チームのリーグ戦運営に側面的な協力を行い、競技人口の増加を支援している。		
	後期に向けた課題	飯田市60歳以上ソフトボール連盟と連携し、市内チームの育成を図る必要がある。ソフトボール競技人口の増加を図るスポーツ実施率の向上につなげて行く。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	大会誌等印刷物について見直し、経費節減を図ってきた。また、毎年使用する大会開催用具について、適切な管理を行い耐用年数を延ばす工夫を行っている。		
	後期に向けた課題	大会の安全確保のため各会場に看護士を配置するなど、経費的には増加しつつある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	大会参加費は、妥当な金額となっている。市の関与については、大会事務局として実行委員会の運営・参加チームの募集等行っている。市内8会場18面のグラウンド準備・競技進行等は飯田市60歳以上ソフトボール連盟が担っている。		
	後期に向けた課題	大会参加者間の交流事業と考えられるため、今後 行政主導の事業から自主運営事業への転換を図っていく必要がある。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけを してきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	飯田市60歳以上ソフトボール連盟が実行委員会組織となり、各試合会場の準備・運営を担っている。また各試合会場の主審は、(財)飯田市体育協会所属のソフトボール部(審判部)にお願いしている。		
	後期に向けた課題	飯田市60歳以上ソフトボール連盟と綿密な連絡を取り合い、試合日程の調整・大会運営に望んできた。ルール面等については、(財)飯田市体育協会所属のソフトボール部(審判部)に変更点等事前確認し、スムーズな試合運営ができるよう努めてきた。		
全体を通じて	4年間の振り返り	県外からの参加チームの中には毎年の大会参加を希望しているチームもあるなど、人気のある大会として運営されている。市外参加者数は1,400名余りで飯田市のアピールに役立っている。国内各地から参加するチームが、競技を通じて交流し、体力の維持とスポーツの振興に寄与する大会となっている。		
	後期に向けた課題	H25年の第30回大会をもって、行政主導の事業としてはサンセットする方向で考えており、その後自主事業として運営するための合意形成を得る必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ある	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ある
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------